

# 4.



公立大学法人  
北九州市立大学

# 第2期中期計画

平成23～28年度

## 『地域に根ざし、時代をリードする人材の育成と知の創造』を目指して

- ① 選ばれる大学への質的成長
- ② プレゼンス(存在感)の向上
- ③ 環境・地域・アジア

### 北の翼

大学の原点である「教育」「研究」という両翼。地域・海外の風を受け龍を切る「社会貢献」という尾翼。確かな目で進むべき方向を見定める「経営」という頭脳。これらが相互に連携しあって、より魅力ある大学を目指し、北九州市立大学は羽ばたいていきます。

### 教育

#### 1 社会を生き抜く力を備え、地域・社会をリードする人材の育成

- 学位授与方針の策定・発信 (1)
  - コミュニケーション・スキル
  - 問題解決力 □ 基礎学力と専門知識
  - 教育ポートフォリオ
- F D 推進
  - 教育内容・方法の改善 (10)
  - ビレバレー、授業アンケートの活用
  - 教育ポートフォリオ
- 健全で安定した財務運営
  - 外部資金等 年間5億円以上 (57)
  - 基金の創設 (58)
  - 省エネ(光熱費対前年度1%減)(59)
  - 人件費の適正化 (60)
- 安全・快適な施設等整備
  - 図書館等の老朽化施設改修計画の整備 (65)
  - ICT活用による学習システム(67)
  - 景観や地域に配慮した維持・管理 (68)
  - 多目的館、自習用PC室、無線LAN (69)
- 特色ある教育 ― 語学・地域・環境 ―
  - 英語力 TOEIC70点以上-50%【基礎教育C】(3)
  - TOEIC70点以上-50%【英米学科】(4-1)
  - 南門分野の実践的英語力【その他学部学科】(5)
  - 中国語検定3級以上-50%【中国学科】(4-2)
  - 地域貢献人材 目標達成率90%【地域創生学群】(6)
  - 地域人材・PBL教育 目標達成率90%【国際環境工学部】(7)
  - 地域教育【北方】(8)
- 高校教育と大学教育の円滑な接続(13)
  - 入学前教育 □ 補習授業
- 入学者受入れ方針の明確化・発信(11)
  - 戦略的な試広報計画 □ スタリッシュ入試 □ 他大学共同プロモーション
- 入学者選抜の改善(12)
  - 戦略的な試広報による優秀な学生の確保【実質倍率2.8倍以上】(14)

#### 3 大きな成長を促し社会への離陸を支援

- 学習意欲の創出(28)
  - 学習ポートフォリオ・履修登録システム
  - 図書館の学習機能の充実
- 就職支援(32)
  - [就職決定率90%以上]
  - インターンシップ種の拡大
  - キャリア教育科目改善
  - カウンセラー増員
- 安定した学生生活(31)
  - 早期支援システムの再構築
  - 障がい学生支援体制
  - 経済的支援
  - 学生証ICカード化(生活補助用、虫除効果)
- 課外活動支援(30)
  - サークル活動、スポーツフェスタ、学生表彰

#### 6 大学が息吹く。我が街への貢献

- 市民活動の促進(41)
  - 学生のオフキャンパス活動支援
  - NPOとの連携事業
  - 地域連携活動(文化施設、地元産品振興)
- 市民社会への貢献
  - 生涯学習機会の提供(44)
  - 公開講座 □ 公開講座等(理工系分野含む)
  - 図書館日曜日開放
  - MBAセミナー
  - 行政の審議会等参画(43)
- 地域の教育研究機能の高度化(46)
  - 大学コンソーシアム入部門
  - 学研都市3大学連携
  - 国公立4大学連携
- 地域課題研究(43)
  - 産業経済、地域福祉、まちづくり、スポーツ、地域文化
- 国際貢献(49)
  - 環境改善技術
  - JICA長期研修事業

### 経営

#### 3 自主・自律し信頼される大学

- 大学の総合力を高める
  - キャンパス間連携の促進(54)
- 事務体制の強化
  - 職員/課数をアロー等へ(55)
  - 事務局再編 (55)
  - SDの推進 (56)
- 大学認知度の向上
  - 認知度向上プロジェクト (63)
  - 創立70周年記念事業 (64)
- 分りやすい重視の情報公開・発信(62)
  - 法令遵守の徹底 (69)
  - リスクマネジメント (70)
- PDCAサイクルの充実・定着 (61)
  - 検証可能なデータ等による自己点検・評価
  - 大学情報のデータベース化
- 評価査
  - 学業や地域に配慮した維持・管理 (68)
  - 多目的館、自習用PC室、無線LAN (69)

### 大学院教育の充実

#### 2 優れた専門知識・学識を有する職業人・研究者の養成

- 学位授与方針の策定・発信 (15)
  - 前期:4専攻体制の見直し、コースワーク
  - 後期:前期課程との接続強化
- 教育システム改革 (16)
  - 前期:4専攻体制の見直し、コースワーク
  - 後期:前期課程との接続強化
- 履修コースの集約、コースワーク等(17)
  - 柔軟な教育課程の見直し
  - 実務教員による最新知の提供
  - 国内外IRとの交流・連携
- ソーシャルビジネス系分野の重点化(19)
  - 柔軟な教育課程の見直し
  - 実務教員による最新知の提供
  - 国内外IRとの交流・連携
- F D 推進
  - 教育内容・方法の改善(22)
  - ビレバレー、授業アンケート活用
  - 教育ポートフォリオ
- 学習成果の検証(21)
  - 授業アンケート評価、履修取得状況
  - 進路先・企業調査
- 指導体制・成績評価の適正化(20)
  - 学部・前期課程の一貫教育【国際環境工学】
  - アジアの専攻リーダーの養成
  - 入学定員振替(後期一前期)
  - 大学標準率率 55%
- 定員充足率の改善(27)
  - 入学者受入れ方針の明確化・発信(23)
  - 入学者選抜の改善(24)
  - 入試広報との連携 □ ホームページ充実

### 社会貢献

#### 7 異文化が交わるキャンパス。多様な国際化の推進

- 研究成果の還元(37)
  - 産学連携活動の推進
  - 研究発表会、刊行物の発行
  - 教員の地域活動
- タコマ・コミュニティカレッジ 北京語言大学派遣(48)
  - 私費留学生支援
  - 国際教育交流センター
- 海外大学等との交流(49)
  - 留学生の受入れ(47)
  - 英語圏、韓国中心に交換留学生枠拡大(北方)
  - アジアからの大学院留学生(20の国)
  - キャンパス内の外国語講座、外国語チームページ

### 研究

#### 4 地域からアジアへ。時代をリードする環境・産業技術

- 環境に関する研究・技術開発(33)
  - (世界の環境首都への貢献)
  - 新エネルギー
  - リサイクル技術
  - 環境共生技術
  - 環境共生社会システム
- 産業に関する研究・技術開発(34)
  - (アジアの技術首都への貢献)
  - カーエレクトロニクス分野
  - ロボット分野
  - 情報分野
  - 素材分野
- (産)環境科学技術研究所の設置(38)
  - 研究開発の戦略的・一元的な推進
  - 技術開発センターの統括・管理
  - 国際連携の促進
  - 外部資金の獲得
- 環境科学技術研究所
  - 環境科学技術研究所の設置(38)
  - 研究開発の戦略的・一元的な推進
  - 技術開発センターの統括・管理
  - 国際連携の促進
  - 外部資金の獲得
- 付属研究機関による研究拠点の形成 (39)
  - 地域、アジア、環境技術等に関する研究高度化
- アジアに関する研究 (35)
  - アジアの政治、経済、社会、文化、歴史、環境など
  - アジア文化社会研究センターでの調査研究
  - アジア地域に関する研究機関との共同研究・交流

#### 5 地域・社会の発展へ。地域課題に対応する調査・研究

- 地域に関する研究 (36)
  - 地域の政治、経済、社会、文化、歴史、環境など
  - 都市政策研究プロジェクト・委託調査
  - 地域に関する研究機関との共同研究・交流
- 研究活動の促進 (40)
  - 科研究等の申請義務化
  - 特別研究推進費の活用改善
  - 教員の博士学位取得率の向上

## 5. 平成23・24年度の取組み —10の主要施策—

### 1 学部等教育の改善

#### —学部等教育改善委員会の設置(平成23年度)

学部等の目的、DP、CP、AP、科目ナンバリング制  
カリキュラムの整理(学位プログラム)、ラーニングアウトカムの測定手法開発

- ・WGの設置
- ・カリキュラム・コーディネーターの配置

### 2 大学院教育の改善

#### —大学院教育改善委員会の設置(平成23年度)

定員充足率の向上策、研究科の目的、DP、CP、AP、科目ナンバリング制  
カリキュラムの整理(コースワーク・リサーチワーク)、教育体制の整備、  
ラーニングアウトカムの測定手法開発

- ・調整WGの設置
- ・文系大学院再編小委員会の設置
- ・国際環境工学研究科再編小委員会の設置
- ・マネジメント研究科再編小委員会の設置

### 3 ICT整備検討

#### —情報総合センターの設置(平成23年度)

ICT整備のあり方(学習支援、教育支援)  
(仮称)情報メディアセンター構想、教育開発支援室との連携

### 4 北方・ひびきの連携プロジェクトの設置(平成23年度)

教育面での連携(北方キャンパス環境教育での連携、文系分野の国際環境工学部との  
連携等)、学生交流等(学園祭、スポーツフェスタ、課外活動等)

### 5 環境技術研究所の設置(平成23年度)

環境科学技術に関する研究機能の拠点化、事業内容、組織構成

### 6 リスクマネジメント検討委員会の設置(平成23年度)

リスクの洗い出し、対応案の検討、組織体制の整備検討、マニュアル作成、既存組織  
(情報セキュリティ委員会、人権ハラスメント委員会等)との関係を整理

### 7 環境教育プロジェクトの設置(平成23年度)

北方キャンパスにおける副専攻環境ESD教育プログラムの作成

### 8 英語演習プロジェクトの設置(平成23年度)

各学部における英語演習プログラムとして副専攻Global Education Programの作成

### 9 認知度向上プロジェクトの設置(平成23年度)

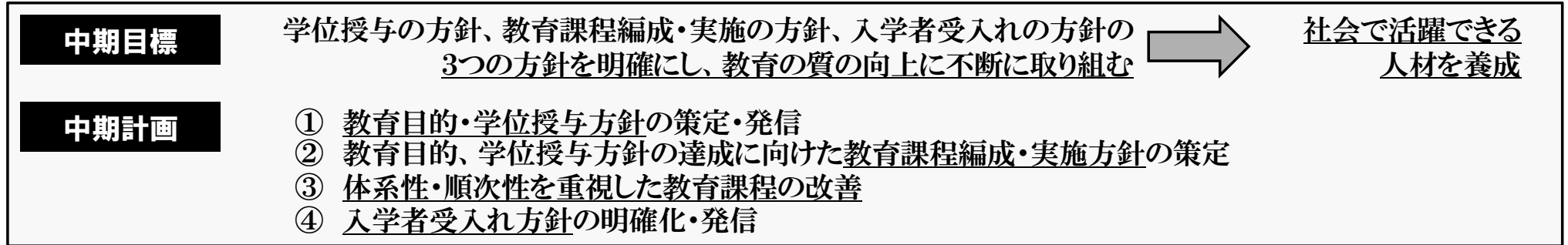
本学の強み・弱みを踏まえ、ブランド力・認知度向上の方向、そのための戦略を作成

### 10 北九州市立大学創立70周年記念事業実行委員会 の設置(平成24年度予定)

平成28年度が本学の創立70周年に当たるため、その5年前に実行委員会を立ち上げ、  
準備を進める

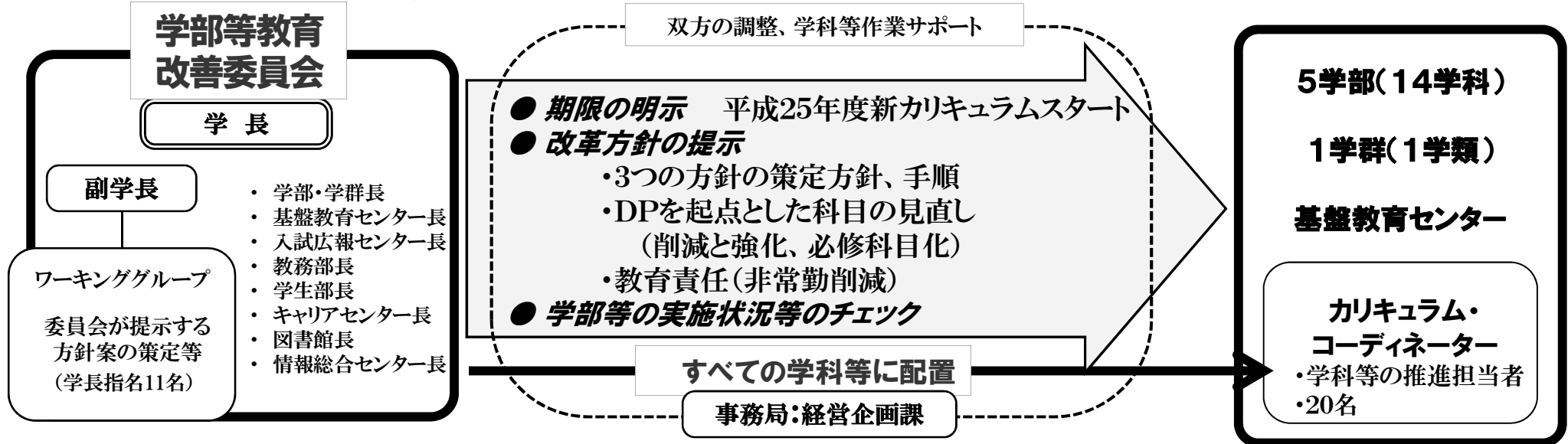
## 6. 3つのポリシー策定と第二次カリキュラム改革(1)

### ◎トップの姿勢「第二次カリキュラム改革を実行する！」



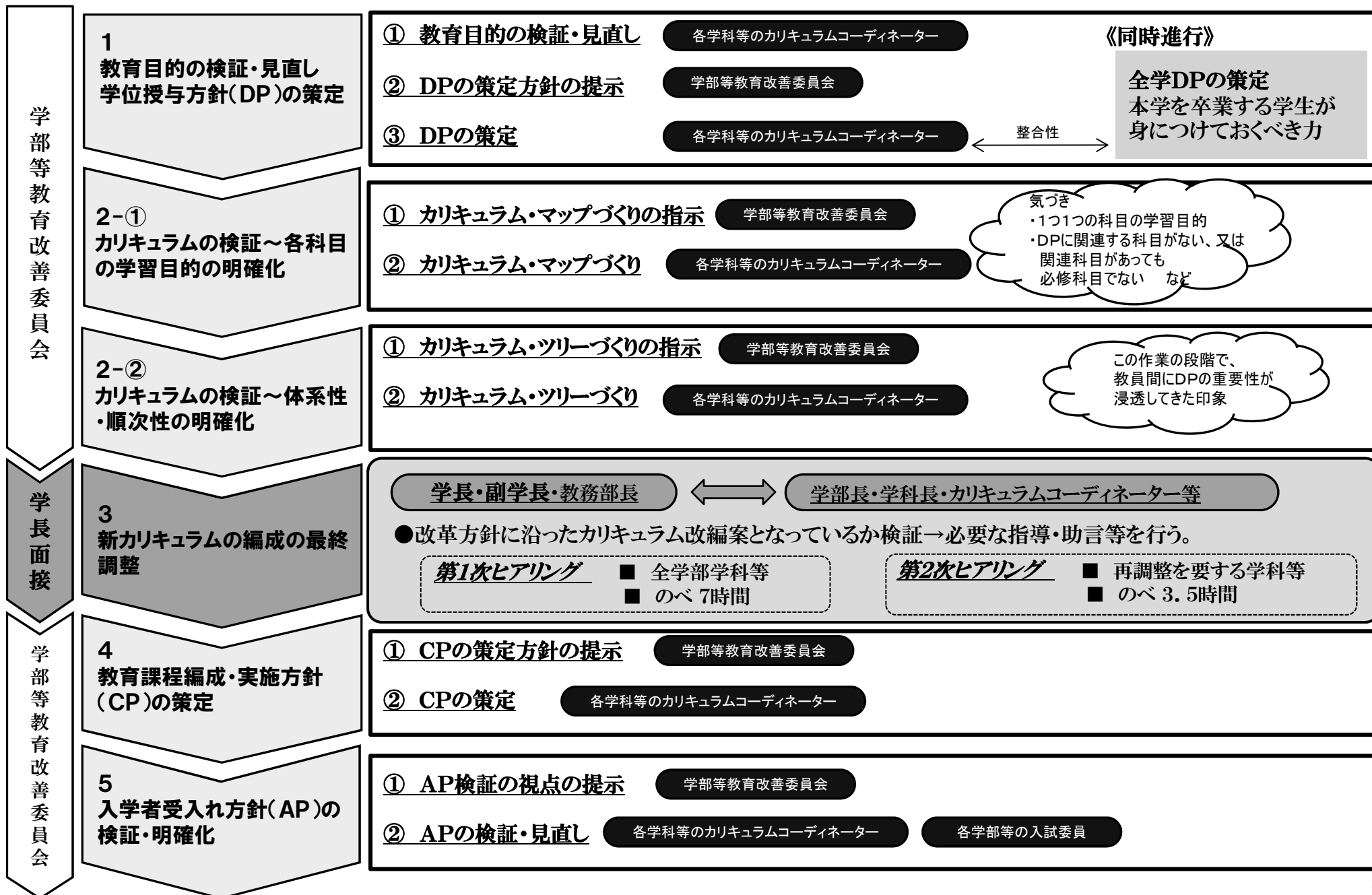
### ◎学長・副学長のイニシアティブ

※時限的な推進組織の設置 (平成23年4月)





# 6. 3つのポリシー策定と第二次カリキュラム改革(2)



## 6. 3つのポリシー策定と第二次カリキュラム改革(3)

### 第一次カリキュラム改革 (H19)

#### ● 方向性

▶教養(基盤)教育の充実、教員の適正配置

#### ● 強化

▶肥大した専門科目のスリム化

▶基盤教育センターの設置…教員37名を異動

▶外国語教育の充実

(基盤教育センターによる実践的な英語教育

→少人数・到達度別クラス編成、TOEICの活用等)

(外国語学科英語専攻・中国語専攻

→英米学科・中国学科へ昇格)

#### ● 削減・新設

▶既存学部の開講科目の平準化と削減(127科目削減)

▶基盤科目の充実…科目の増設(31科目増設)

#### ● 教育責任

▶非常勤科目の削減 (約20%削減)

### 第二次カリキュラム改革 (H25)

▶教育の質の向上を目的とした質的改革

▶DPに基づく体系性・順次性の確立

(必須科目化、カリキュラムマップ、カリキュラムツリー)

▶キャリア教育の充実

(科目の新設、選択必修科目化) ※北方キャンパス

▶英語教育の充実

(必修単位数の増加、科目の新設等) ※ひびきのキャンパス

▶震災を踏まえた安全・防災関連科目の充実

(科目の新設等) ※建築デザイン学科

▶科目の廃止(約170科目)

▶必修科目化(26科目)

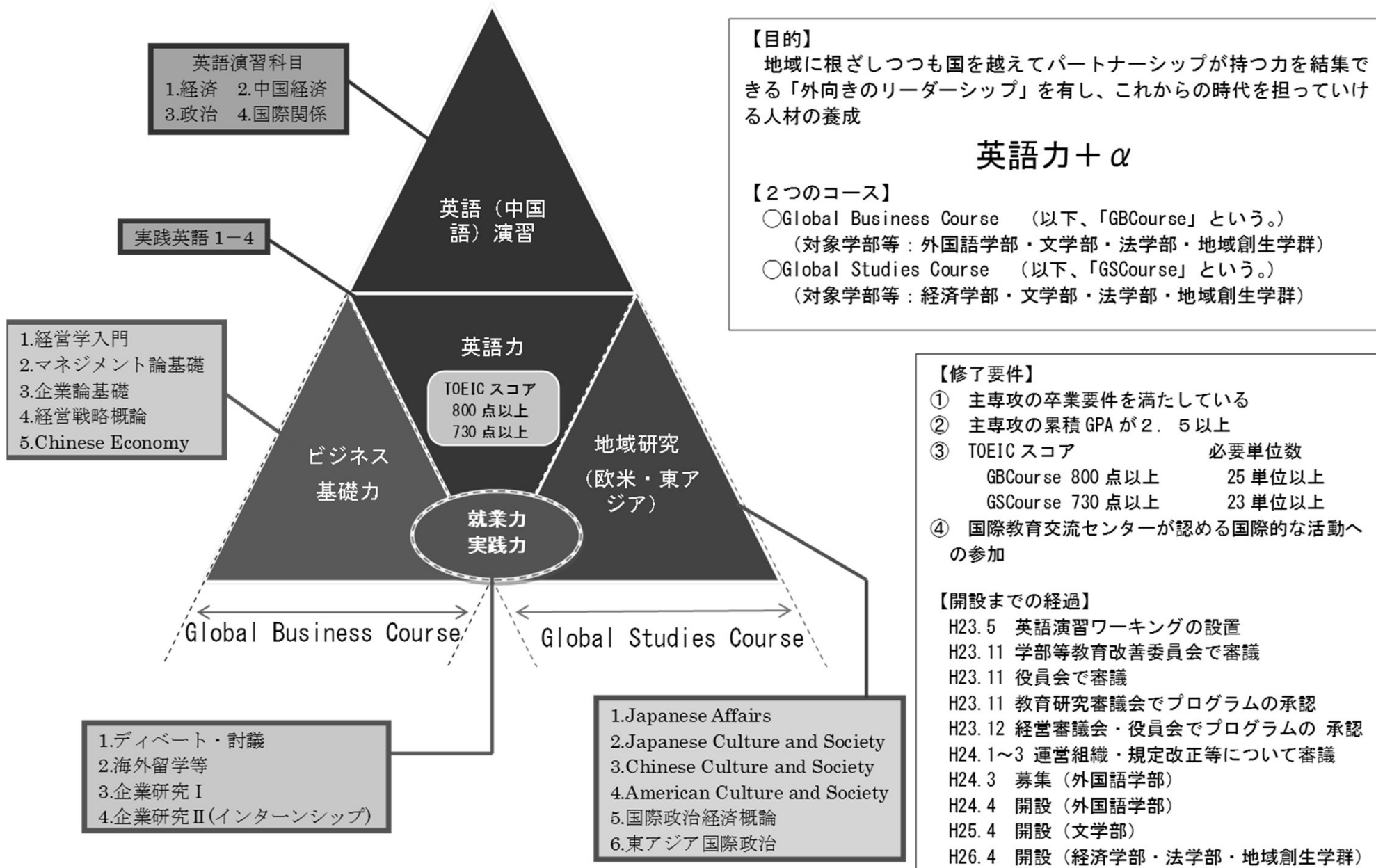
▶科目の新設(約140科目)

▶配当年次の変更(約180科目)

体系性・順次性を  
考慮した科目の見  
直し

▶非常勤科目の削減 (約30科目)

# 7. 副専攻の設置 — (1) Global Education Program



**【目的】**  
 地域に根ざしつつも国を越えてパートナーシップが持つ力を結集できる「外向きのリーダーシップ」を有し、これからの時代を担っていける人材の養成

**英語力+α**

**【2つのコース】**

- Global Business Course (以下、「GBCourse」という。)  
 (対象学部等：外国語学部・文学部・法学部・地域創生学群)
- Global Studies Course (以下、「GSCourse」という。)  
 (対象学部等：経済学部・文学部・法学部・地域創生学群)

**【修了要件】**

- ① 主専攻の卒業要件を満たしている
- ② 主専攻の累積 GPA が 2.5 以上
- ③ TOEIC スコア 必要単位数  
 GBCourse 800 点以上 25 単位以上  
 GSCourse 730 点以上 23 単位以上
- ④ 国際教育交流センターが認める国際的な活動への参加

**【開設までの経過】**

- H23.5 英語演習ワーキングの設置
- H23.11 学部等教育改善委員会で審議
- H23.11 役員会で審議
- H23.11 教育研究審議会でプログラムの承認
- H23.12 経営審議会・役員会でプログラムの承認
- H24.1~3 運営組織・規定改正等について審議
- H24.3 募集 (外国語学部)
- H24.4 開設 (外国語学部)
- H25.4 開設 (文学部)
- H26.4 開設 (経済学部・法学部・地域創生学群)